

TIME & ECOLOGY
AMANO®



第89期 中間事業報告書

平成16年4月1日～平成16年9月30日

証券コード 6436

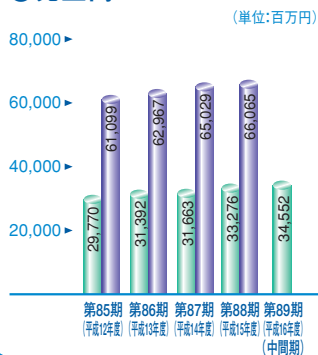
● 目 次 ●

財務ハイライト（連結）—— 1
 株主の皆様へ—— 2
 営業概況—— 3
 TOPICS—— 7
 主要指標の推移—— 11
 連結財務諸表—— 12
 中間連結財務諸表作成のための
 基本となる重要な事項—— 14
 単独財務諸表—— 15
 株式の状況—— 16
 AMANOネットワーク—— 17
 会社の概要—— 18

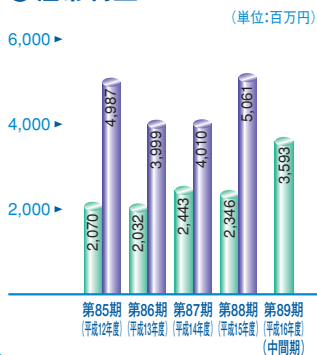
財務ハイライト（連結）

中間期 ■■■ 通期 ■■■■

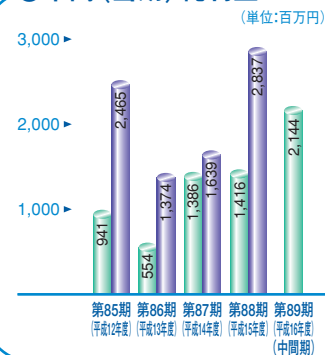
● 売上高



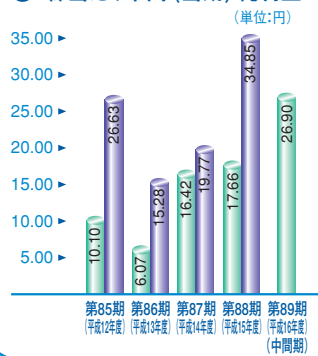
● 経常利益



● 中間(当期)純利益



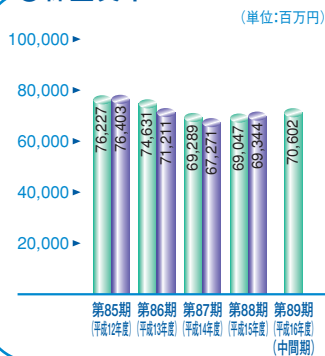
● 1株当たり中間(当期)純利益



● 総資産



● 株主資本



(注)金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに「第89期中間期の事業報告書」をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当社は、創業以来、「人と時間」「人と環境」を企業テーマに掲げ、全事業活動の座標軸を顧客満足度におき、全社員がお客様の声を聞く「顧客第一主義」を基本方針としております。また、株主、投資家の皆様にとって魅力ある企業であるために企業価値（現在価値+将来価値）の最大化を図ることを経営の重点戦略としてまいりました。

当社は、昨年より「収益性重視」を基本コンセプトに3ヵ年の新中期経営計画をスタートさせました。2年目となりました当中間期におきましても、収益体質変革へ向けて「着実に収益の持続的成長」が実現できる企業体質とすることを経営課題といたしました。

この方針のもと、当社およびグループ各社は連携を一層強化し、各事業における新市場の創出、広範なソリューションサービスの提供など営業体制の強化・拡充を推進すると共に高付加価値製品、ソフトウェアの開発などに努めました。さらに、収益力向上のためコスト構造の革新、諸経費の削減など経営効率化に取り組んでまいりました。その結果、当中間期の連結・単独業績につきましては、売上、利益とも期初計画を上回る業績をあげることができました。

中間配当金につきましては、株主の皆様のご支援にお応えするため、中間期の業績を勘案し、普

通配当金を1株につき2円50銭増配し9円とさせていただきます。

下期の経営環境につきましては、良好な輸出環境の持続、民間設備投資のすそ野拡大などにより景気と企業業績は引き続き順調に推移するものと期待されますが、為替の動向、原油高騰による原材料価格の上昇懸念など、景気先行きはなお予断を許さないものがあります。

このような環境下において当社は、中期経営計画の目標達成に向け、引き続き経営計画を着実に実行し収益向上、企業価値向上のためグループ各社が一丸となってチャレンジしてまいる所存でございます。

株主の皆様におかれましては、何とぞ倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年12月



代表取締役社長

春田 薫

営業概況

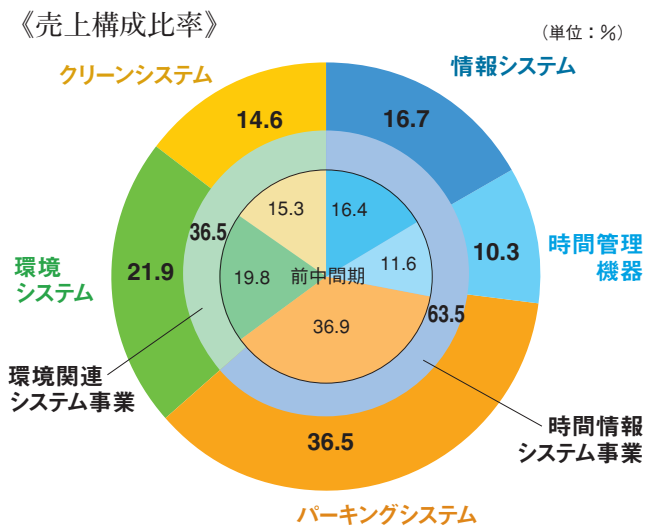
●当中間期連結業績の概況

当中間期におけるわが国経済は、製造業を中心とした企業収益の改善、設備投資の拡大、輸出の増加などを背景に景気は引き続き順調に推移いたしました。

このような経営環境下において当社は、平成15年4月からスタートした新中期経営計画に基づき、収益構造再構築に向けグループ各社一丸となって、営業力強化と固定費削減、原価低減、生産性向上などコスト競争力強化に取り組んでまいりました。

連結の業績は、売上高345億52百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益35億56百万円（同48.6%増）、経常利益35億93百万円（同53.1%増）、中間純利益は21億44百万円（同51.4%増）となりました。

各部門別の概況は次の通りであります。



情報システム

就業・給与・人事・入室・食堂システム

当事業部門は、国内では労働基準監督署の企業への労働時間の管理徹底に対する指導強化が継続的に行なわれていることに加え、企業業績の回復も背景として、中規模・大規模層の企業を中心に就業管理システムを再構築するための需要が堅調に推移しました。

一昨年から顕在化した自治体を中心とした公共マーケットにおけるシステム化への動きも、中核自治体での導入が進み、波及の兆しが見えてまいりました。

さらに、個人情報保護法の施行を来年4月に控え、入室管理への需要が顕在化し始めました。また、就業管理用ICカードを入室管理と共有する事例も増加しております。

当中間期の実績は、国内では堅調な需要が続く中、前年同期に比べ9.1%増収となりました。品目別には、ターミナル機器は8.1%、ソフトウェアは8.6%、メンテ・サプライは12.0%とそれぞれ増収となりました。ソフトウェアの増収は、就業管理ソフトを中心に人事、入室管理の各種ソフトの伸長によるものです。

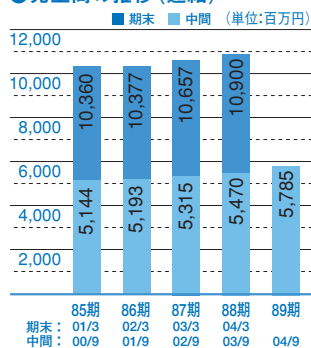
海外では、北米、欧州は減収、アジアは横ばいとなりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は57億85百万円（前年同期比5.8%増）となりました。



入室管理システム iAccess

●売上高の推移(連結)



時間情報システム事業

時間管理機器

タイムレコーダー・タイムスタンプ

当事業部門は、需要構造が高価格帯機種から低価格帯への移行が一段と強まる中、国内は、PC連動タイムレコーダー「TimeP@CK」が引き続き伸長しましたが、全体では、集計機能付き高価格機種の需要減少により減収となりました。輸出は前年同期と比べ横ばいにとどまりました。

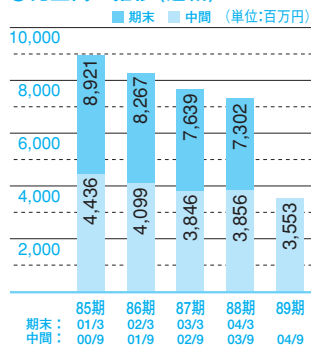
海外では、欧州、アジアとも競争激化が続き減収となりましたが、北米は回復基調を示してまいりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は35億53百万円（前年同期比7.8%減）となりました。



TimeP@CK

●売上高の推移(連結)



パーキングシステム

駐車場管理機器・マネジメントサービス

当事業部門は、国内ではスーパーを中心とした大型店や病院等における無料駐車場の有料化、首都圏駐車場における効率経営への取り組みなどにより、新規、更新とも底堅い需要が続きました。

当中間期の業績は、市場全体の需要が堅調に推移する中、精算機とゲートを中心に着実に実績を伸ばしました。

品目別には、システム機器は前年同期に比べ0.4%増、メンテ・サプライは9.0%増となりました。メンテ・サプライの増収は、蓄積された納入サイト数をベースとした保守契約の推進、駐車券・パスカード等の堅調な需要によります。

駐車場管理受託のマネジメントサービスは、駐車場経営の安定化ニーズに対し、国内グループ会社と一体となったコンサルティング営業の強化・拡充により、件数・台数とも、順調に実績を伸ばしました。

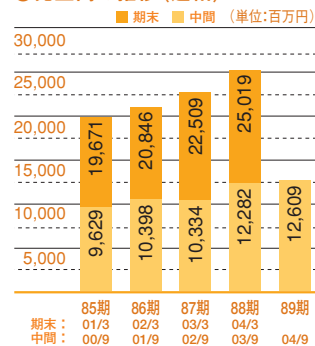
海外では、北米が機能強化した精算機の需要増、欧州はスペインへの販売地域拡大、アジアは韓国での実績伸長により、各地域とも増収となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は126億9百万円（前年同期比2.7%増）となりました。



出口料金精算システム
(小規模駐車場向け)

●売上高の推移(連結)



環境関連システム事業

環境システム

汎用集塵機・大型集塵装置・粉粒体空気輸送システム・
高温有害ガス除去システム・脱臭システム・電解水生成装置

当事業部門は、国内では製造業の設備投資拡大を背景に汎用機、大型システムとも好調な需要が続きました。

当中間期の実績は、汎用機部門は、小型集塵機を中心に需要が拡大し、売上高は前年同期に比べ16.8%の増収、大型システムは、自動車関連企業を中心とした設備投資拡大をうけ15.6%の増収となりました。

海外では、中国での営業体制の強化・拡充により、日系企業を中心に需要が顕在化し、大幅増収となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は75億54百万円（前年同期比14.9%増）となりました。

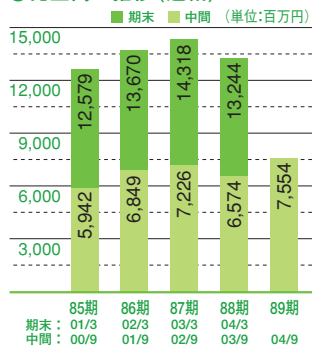


設置例



フィルター式
小型ミストコレクター

●売上高の推移（連結）



クリーンシステム

清掃機器・ドライケア清掃システム・マネジメントサービス

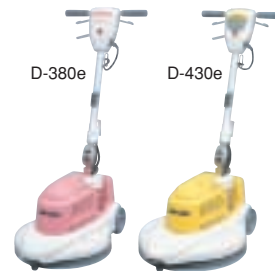
当事業部門は、国内では大手スーパーを中心とした大型店舗の出店継続、中規模専門店の需要顕在化に加え、製造事業所からの需要も回復傾向を示してきました。

当中間期の実績は、洗浄機を中心にスーパー、専門店、ビルメンテナンス業界へ実績を伸ばしました。また、小規模チェーン店用小型電子高速バフイングマシンは、コンビニエンスストアや多店舗チェーンからの堅調な需要に支えられ伸長しました。

さらに、ファクトリー向けスイーパー、洗浄機の受注も増加しました。

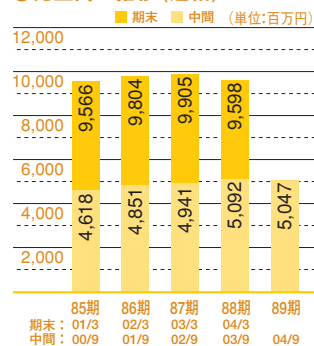
海外では、北米が為替換算レートの影響で減収となっておりますが、現地通貨ベースでは増収となっております。

以上の結果、当事業部門の売上高は50億47百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

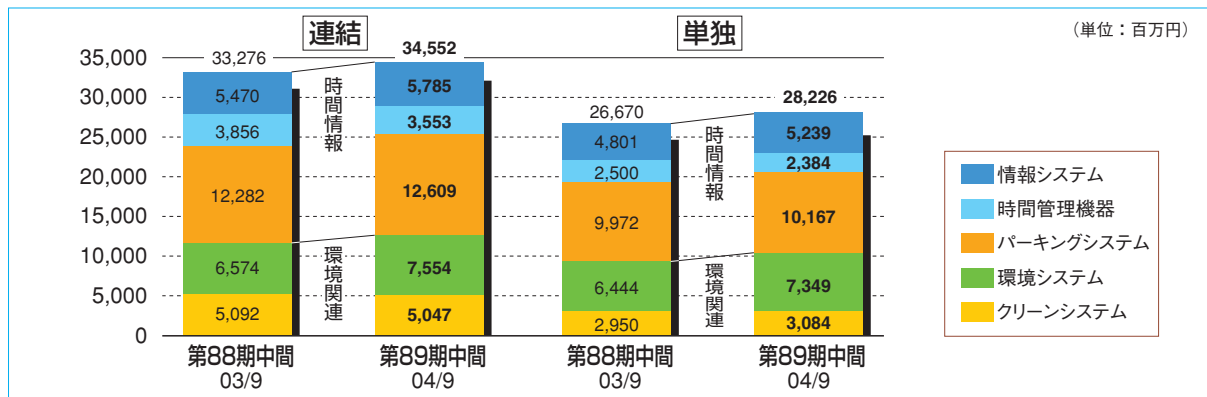


小型電子高速バフイングマシン

●売上高の推移（連結）



●部門別販売の状況



区 分	第88期中間期 2003年(平成15年)9月期		第89期中間期 2004年(平成16年)9月期		増 減			
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	比 率 (%)		
時間情報システム事業	情報システム	連結	5,470	16.4	5,785	16.7	315	5.8
		単独	4,801	18.0	5,239	18.6	438	9.1
	時間管理機器	連結	3,856	11.6	3,553	10.3	△ 302	△ 7.8
		単独	2,500	9.4	2,384	8.4	△ 116	△ 4.6
	パーキングシステム	連結	12,282	36.9	12,609	36.5	327	2.7
		単独	9,972	37.4	10,167	36.0	195	2.0
小 計	連結	21,609	64.9	21,949	63.5	340	1.6	
単独	17,275	64.8	17,792	63.0	517	3.0		
環境関連システム事業	環境システム	連結	6,574	19.8	7,554	21.9	979	14.9
		単独	6,444	24.1	7,349	26.1	904	14.0
	クリーンシステム	連結	5,092	15.3	5,047	14.6	△ 44	△ 0.9
		単独	2,950	11.1	3,084	10.9	133	4.5
	小 計	連結	11,667	35.1	12,602	36.5	935	8.0
		単独	9,395	35.2	10,433	37.0	1,038	11.0
合 計	連結	33,276	100.0	34,552	100.0	1,275	3.8	
単独	26,670	100.0	28,226	100.0	1,555	5.8		
内 輸出売上高	単独	918	3.4	1,092	3.9	174	19.0	

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

事業別活動報告

情報システム事業

『アマノのソリューション型ビジネス』で
大規模企業層での受注が拡大

昨年来、公共市場に向けて積極的に時間情報システムの導入提案を行なっています。

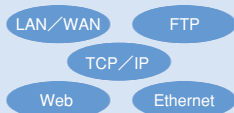
就業情報システム分野では、クライアントサーバーやWebなど企業の最新の情報インフラに対応し、同時に企業ネットワーク環境での運用を前提として、届出承認ワークフローをはじめとする機能の充実を図ってきた結果、自治体や数千名以上規模の大企業で『アマノ就業ソリューション』を導入するケースが広がっています。製造業、外食チェーン、SPA(*)のいずれも業界最大手企業をはじめとして、今春には2万名規模の自治体での運用もスタートいたしました。

アマノが長年培ってきたノウハウを結集した『就業パッケージ』のコア機能をベースに、業種・業態、企業規模、企業インフラを問わず、ユーザーとともに最適システムの構築を実現する『アマノのソリューション型ビジネス』により、大規模企業層からの受注も、拡大傾向にあります。

*SPA：Speciality retailer of Private label Apparel (衣料品製造小売業)



パーソナルWebクライアント



自治体



サービス業



病院



学校・文教



ホテル



製造業

タイムマネジメント事業（時間管理機器）

タイムレコーダーの機能拡張シリーズ発売で、
顧客満足度アップ

中小規模事業所ではパート・アルバイトの増加、派遣社員採用など、雇用形態の変化や労働時間の適正化で、就業時刻を明確にするように求められています。デジタル機器の急速な普及に歩調を合わせてタイムレコーダーも進化、パソコンに接続してパソコン画面上でタイムカード集計が簡単にでき、市販給与計算ソフトに連携して給与計算まで行なうことのできる『TimeP@CK』がいまやタイムレコーダーの新標準機として評価されてきています。また、お客様がタイムレコーダーをもっと便利に活用できるようにと、便利な周辺アクセサリを充実させています。

■『タイムカード名前書きソフト』：今まで手書きしていたタイムカードの発行をインクジェットプリンターで手軽に印刷できるソフトウェアです。

■『MeChime（ミーチャイム）』：タイムレコーダーに接続して、始業／終業時刻や休憩の開始・終了時刻に良質なデジタル音源で時報（チャイム）出力できる装置です。

■『複数店舗・事業所対応 拡張ツール』：TimeP@CKで複数のタイムカード集計を1台のパソコンでまとめて作業できるソフトウェアです。



タイムカード名前書きソフト

TimeP@CK
タイムレコーダー

スマートメディア
(メモリー) MeChime

パーキングシステム事業

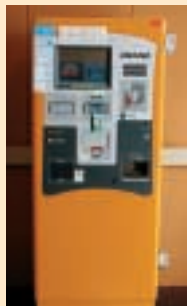
『昭和の森再開発計画』で 最新の駐車場管制システム完成

東京都昭島市（JR青梅線／昭島駅前）のショッピングセンター「モリタウン」において、『昭和の森再開発計画』の一環として、新モール棟および駐車場棟（地上4階建て鉄骨造立体5層駐車場）が建設されました。駐車総台数は新モール棟の屋上と合わせて1465台。平成16年10月28日にオープンいたしました。入口3ヶ所、出口4ヶ所、モール内には事前精算機12台を設置し、利用客の利便を図っています。この新しい駐車場管制システムの特長として、

- (1) 入庫車両の車番を認識する“パターンマッチングシステム”を採用。
- (2) “事前精算機”併用で、特に出口での車の流れを円滑にする工夫がなされている。
- (3) “割引券レスシステム”採用。ショッピングモール内での買物を“POSシステム”と連携させ、買物金額に応じた割引を自動化。
- (4) 再使用可能な駐車カードを採用。
- (5) 料金精算は現金の他、Edyカード（電子マネー）、クレジットカードにも対応。



車番認識システムを採用



事前料金精算機
NT-7800

ITS世界会議 愛知・名古屋2004に参加

現在、愛知県では第2東名神高速道路の建設、国際博覧会の開催、中部国際空港の開港など、ITS(*1)を活用したビッグプロジェクトが目白押しです。その中で平成16年10月19日から6日間、『ITS世界会議 愛知・名古屋2004』が開催されました。学術的検討・技術報告・展示・現場での体験等“ITSに関する世界最大の情報発信の場”にアマノも参加。「ITSワールドパビリオン」ではETC(*2)車載器を利用したチケットレス駐車場を目指し『DSRC(*3)駐車場システム』を出品しました。また展示会場では、『i-mode FeliCa 携帯電話を利用した駐車場料金決済システム』ほかの運用システムを実演展示。海外からも多くの団体がアマノブースに訪れ、次世代駐車場システムに関心を寄せていました。



- (*1) ITS : Intelligent Transport System (高度道路交通システム)
 (*2) ETC : Electronic Toll Collection system (自動料金収受システム)
 (*3) DSRC : Dedicated Short Range Communication (狭域双方向通信)

中部国際空港、アマノが 『駐車場・総合交通情報提供システム』を受注

中部地方の新しい空の玄関口となる『中部国際空港』。現在、平成17年2月17日開港にむけて急ピッチで建設がすすんでいます。

事業別活動報告

環境システム事業

引き続き、小型脱臭装置の需要拡大に期待

小型環境機器分野では、ミストコレクターや小型乾式集塵機が顧客へのニーズ対応力で、工作機械・輸送機・電子関連工場を中心に伸長しています。取り組みを強化している小型脱臭装置の新分野では、レーザーマーカークの加工臭や腐敗臭および食品加工臭等の有望市場を開拓しており、拡大が期待できます。

大型環境システム分野では、粉粒体輸送システムが伸長しています。カーボン粉体輸送はアマノが最も得意とする技術のひとつですが、カーボンの主用途である自動車用タイヤの需要が中国・韓国などアジア市場において急速に拡大しているため、日本企業現地工場および現地企業の粉粒体輸送システムと集塵システムの需要に対応しています。アジア地域の需要は今後さらに拡大傾向にあり、この需要に対する対応力強化を図っていきます。



レーザーマーカーク



小型脱臭装置VF-5H

クリーンシステム事業

中規模の店舗・施設向けに小型バフイングマシンを発売

アマノ清掃機は今や全国的にコンビニエンスストアやスーパーマーケットなどで、その黄色と白の2トーンカラーボディがお馴染みになってきており、アマノ清掃機ファンが増えています。

今年5月、中規模（床面積500~1200㎡）の店舗・施設用に新商品『電子高速バフイングマシン DE-501』（樹脂床光沢復元用床磨き清掃機）を発売しました。

従来モデル『DE-500』と比較して平面積で31%、質量で17%も小型化を実現。しかも、電源に液補充不要のメンテフリーバッテリーを採用。さらに高効率小型モーター採用でパワーも1割アップさせました。小型化の実現により店舗内の狭い通路床面も簡単に清掃できるようになり、ドラッグストア等の新市場にも導入が進んでいます。



電子高速バフイングマシン DE-501

ア マ ノ グ ル ー プ 企 業 現 況

アマノ メンテナンスエンジニアリング
株式会社

清掃メンテナンスセンターが充実

アマノの環境事業・パーキング事業・クリーンシステム事業を工事およびサービスエンジニアリングでサポートする『アマノ メンテナンスエンジニアリング株式会社』（通称 AME）。

クリーンシステム事業において、同業他社にはない顧客サービスを提供する新事業として、昨年4月にアマノ細江事業所内（静岡県引佐郡細江町）と埼玉県川口市内の2ヶ所に清掃メンテナンスサービスセンターを開設しました。専門スタッフによる清掃機器のオーバーホールや技術的に難易度の高い修理などのサービスを全国に展開させています。専用トラック便を運行させて機器の引取りおよび納品サービスを行なう等、物流インフラも充実。新規開設の「メンテナンスセンター川口」ではスタッフ育成に注力し、中型自動床面洗浄機やバフィングマシン（光沢還元床磨き清掃機）のオーバーホールからスタートし、現在では、プロパン搭載大型バフィングマシンや大型路面清掃機の処理ができるまでに充実させてきています。



川口センター作業風景



清掃機の広告を掲げて走る専用トラック

AMANO ELECTRONICS EUPORE, N.V.

パーキング好調

ベルギーに本社を置く『アマノエレクトロニクスヨーロッパ』（通称AEE）では、最新のテクノロジーを搭載したリアルタイムネットワークターミナル『iParc (Revenue & Access Control System)』や、新型の全自動料金精算機『SWOT NT-7900』（Automatic Pay Station）などの次世代システムを展示会他で積極的にPRした結果、新型精算機の納入が続々と決まっています。

また昨年、スペイン・バルセロナに子会社を設立。スペイン全土をカバーし、主にパーキングシステムの販売・サポートを行っています。

Automatic Pay Station
NT-7900

●連結決算

(単位：百万円)

	第85期		第86期		第87期		第88期		第89期
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期
	平成12年4月1日～ 平成12年9月30日	平成12年4月1日～ 平成13年3月31日	平成13年4月1日～ 平成13年9月30日	平成13年4月1日～ 平成14年3月31日	平成14年4月1日～ 平成14年9月30日	平成14年4月1日～ 平成15年3月31日	平成15年4月1日～ 平成15年9月30日	平成15年4月1日～ 平成16年3月31日	平成16年4月1日～ 平成16年9月30日
売上高	29,770	61,099	31,392	62,967	31,663	65,029	33,276	66,065	34,552
営業利益	2,588	5,302	1,889	3,690	2,253	4,088	2,392	5,298	3,556
経常利益	2,070	4,987	2,032	3,999	2,443	4,010	2,346	5,061	3,593
中間(当期)純利益	941	2,465	554	1,374	1,386	1,639	1,416	2,837	2,144
1株当たり中間(当期)純利益	10円10銭	26円63銭	6円07銭	15円28銭	16円42銭	19円77銭	17円66銭	34円85銭	26円90銭
総資産	98,273	99,658	96,934	93,175	91,564	89,935	91,356	91,869	94,558
純資産(株主資本)	76,227	76,403	74,631	71,211	69,289	67,271	69,047	69,344	70,602

●単独決算

(単位：百万円)

	第85期		第86期		第87期		第88期		第89期
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期
	平成12年4月1日～ 平成12年9月30日	平成12年4月1日～ 平成13年3月31日	平成13年4月1日～ 平成13年9月30日	平成13年4月1日～ 平成14年3月31日	平成14年4月1日～ 平成14年9月30日	平成14年4月1日～ 平成15年3月31日	平成15年4月1日～ 平成15年9月30日	平成15年4月1日～ 平成16年3月31日	平成16年4月1日～ 平成16年9月30日
売上高	24,983	50,941	25,439	50,932	26,045	52,785	26,670	53,785	28,226
営業利益	2,293	4,843	1,673	3,444	2,055	3,296	1,997	4,439	3,059
経常利益	2,035	4,914	1,844	3,762	2,128	3,114	1,935	4,236	3,147
中間(当期)純利益	1,016	2,014	435	813	1,206	1,000	1,163	2,505	1,875
1株当たり中間(当期)純利益	10円85銭	21円63銭	4円77銭	9円05銭	14円29銭	12円11銭	14円50銭	30円81銭	23円52銭
配当性向	—	59.5%	—	140.4%	—	105.9%	—	49.5%	—
総資産	101,629	101,815	97,647	93,164	91,704	88,982	89,946	91,251	93,297
純資産(株主資本)	81,712	80,982	77,923	73,584	72,049	69,439	70,788	71,728	72,699

(注) 第86期中間期以降の単独決算「1株当たり中間(当期)純利益」は自己株式数控除後の期中平均発行済株式数により算出しております。

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	第 89 期 (当中間期) <small>(平成16年9月30日現在)</small>	第 88 期 (前中間期) <small>(平成15年9月30日現在)</small>
流動資産	58,670	51,833
現金及び預金	31,423	24,099
受取手形及び売掛金	18,968	19,407
有価証券	27	163
たな卸資産	6,232	6,176
繰延税金資産	974	804
その他	1,194	1,339
貸倒引当金	△ 150	△ 158
固定資産	35,887	39,523
有形固定資産	20,656	20,950
建物及び構築物	11,586	12,117
機械装置及び運搬具	1,272	1,278
工具器具及び備品	1,253	1,265
土地	6,161	6,024
建設仮勘定	381	263
無形固定資産	3,937	3,942
営業権	2,013	2,460
ソフトウェア	1,515	1,425
ソフトウェア仮勘定	352	—
その他	55	55
投資その他の資産	11,292	14,630
投資有価証券	4,164	6,792
長期貸付金	285	313
差入保証金	1,187	1,167
繰延税金資産	2,199	2,763
長期預金	1,000	1,275
その他	2,761	2,593
貸倒引当金	△ 305	△ 276
資産合計	94,558	91,356

負債の部	第 89 期 (当中間期) <small>(平成16年9月30日現在)</small>	第 88 期 (前中間期) <small>(平成15年9月30日現在)</small>
流動負債	18,631	17,288
支払手形及び買掛金	9,514	8,807
短期借入金	705	761
未払法人税等	1,452	882
賞与引当金	1,705	1,534
その他	5,254	5,302
固定負債	5,026	4,800
長期借入金	250	288
退職給付引当金	4,038	3,853
役員退職慰労引当金	628	576
繰延税金負債	60	51
その他	49	30
負債合計	23,657	22,089
少数株主持分	298	220
資本の部		
資本金	18,239	18,239
資本剰余金	19,293	19,293
利益剰余金	36,049	33,771
その他有価証券評価差額金	△ 135	△ 483
為替換算調整勘定	△ 1,628	△ 935
自己株式	△ 1,215	△ 838
資本合計	70,602	69,047
負債、少数株主持分及び資本合計	94,558	91,356

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 有形固定資産の減価償却累計額

当中間期	前中間期
27,551 ^{百万円}	26,671 ^{百万円}

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	第89期 (当中間期) <small>(平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)</small>	第88期 (前中間期) <small>(平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)</small>
売上高	34,552	33,276
売上原価	18,798	18,696
売上総利益	15,753	14,579
販売費及び一般管理費	12,196	12,186
営業利益	3,556	2,392
営業外収益	279	285
受取利息及び配当金	69	74
その他	210	210
営業外費用	242	331
支払利息	20	28
営業権償却	160	160
その他	62	143
経常利益	3,593	2,346
特別利益	70	59
固定資産売却益	1	2
投資有価証券売却益	49	24
その他	19	33
特別損失	137	85
固定資産除却損	15	31
投資有価証券売却損	121	46
ゴルフ会員権評価損	—	7
税金等調整前中間純利益	3,526	2,321
法人税、住民税及び事業税	1,329	862
少数株主利益	52	41
中間純利益	2,144	1,416

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 税効果会計の適用に当たり「簡便法」を採用しておりますので、法人税、住民税及び事業税は法人税等調整額を含めた金額で一括掲記しております。

中間連結剰余金計算書

(単位：百万円)

	第89期 (当中間期) <small>(平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)</small>	第88期 (前中間期) <small>(平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)</small>
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	19,293	19,293
資本剰余金中間期末残高	19,293	19,293
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	34,671	34,923
利益剰余金増加高	2,144	1,416
中間純利益	2,144	1,416
利益剰余金減少高	766	2,569
配当金	717	521
役員賞与	48	8
自己株式消却額	—	2,038
利益剰余金中間期末残高	36,049	33,771

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

	第89期 (当中間期) <small>(平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)</small>	第88期 (前中間期) <small>(平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)</small>
営業活動による キャッシュ・フロー	4,087	3,939
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 780	△ 996
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 747	△ 633
現金及び現金同等物に 係る換算差額	22	△ 108
現金及び現金同等物の 増加額	2,582	2,200
現金及び現金同等物の 期首残高	27,565	21,898
現金及び現金同等物の 中間期末残高	30,148	24,099

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	当中間期	前中間期
現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	31,423 ^{百万円}	24,099 ^{百万円}
現金及び預金勘定 預入期間が3ヶ月を 超える定期預金	△1,275	—
現金及び現金同等物	30,148	24,099

1. 連結の範囲に関する事項

(イ) 連結子会社の数

主要な連結子会社名

22社
 アモノ USA Inc.
 アモノ シンシナティ Inc.
 バイオニア エクリプス Corp.
 アモノ エレクトロニクス ヨーロッパ N.V.
 アモノ クリーンテック (M)SDN. BHD.
 アモノ タイム&エア シンガポール PTE. LTD.
 安満能国際貿易 (上海) 有限公司
 アモノ コーリア Corp.
 株環境衛生研究所
 ㈱エー・エム・エス
 アモノ メンテナンス エンジニアリング ㈱
 アモノ ビジネス ソリューションズ ㈱ 他
 アモノ オーストラリア PTY. LTD.
 安満能軟件工程 (上海) 有限公司
 アモノ エコ・テクノロジー ㈱
 エー・エス・イー USA Inc.
 エー・エス・イー R&D ヨーロッパ N.V.
 アモノ システムズ九州 ㈱
 アモノ タイム ビジネス ㈱
 アモノ タイム&パーキング スペイン SA
 アットパーク コリア CO.,LTD
 以上9社

(ロ) 非連結子会社の名称等

(連結の範囲から除いた理由)

非連結子会社は、いずれも小規模会社であり、合計の総資産、売上高、中間純損益及び利益剰余金(持分に見合う額)等は、いずれも中間連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないためであります。

2. 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3. 連結子会社の中間決算日等に関する事項

海外子会社の中間決算日は、6月30日であります。また、中間連結財務諸表の作成にあたっては、同日現在の中間財務諸表を使用し、中間連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

4. 会計処理基準に関する事項

(イ) 重要な資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

その他有価証券 時価のあるもの……中間連結決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は、全部資本直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定)

時価のないもの……移動平均法による原価法

② デリバティブ

……………時価法

③ たな卸資産

……………主として総平均法による原価法

(ロ) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法(ただし、平成10年4月1日以降取得した建物(建物附属設備を除く)については定額法)を採用しております。

なお、耐用年数及び残存価額については、当社及び国内連結子会社は法人税法に規定する方法と同一の基準により、また、在外連結子会社は所在地国の会計基準の規定に基づく方法によっております。

② 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、耐用年数については、当社及び国内連結子会社は法人税法に

規定する方法と同一の基準により、また、在外連結子会社は所在地国の会計基準の規定に基づく方法によっております。

ただし、当社の市場販売目的のソフトウェアについては、見込販売可能期間(3年)に基づく定額法、当社及び国内連結子会社の自社利用目的のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

また、米国連結子会社の営業権については、米国財務会計基準審議会基準書第142号「営業権及びその他の無形固定資産」を適用しております。

(ハ) 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金

売掛金、貸付金等の債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員の賞与の支出に備えるため、その期に帰属する支給見込額を計上しております。

③ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間連結会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。

数値計算上の差異については、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生翌連結会計年度から費用処理することとしております。

④ 役員退職慰労引当金

役員の退職による役員退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づき、中間連結会計期間末支給額の100%を計上しております。

(ニ) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、中間連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

なお、在外子会社等の資産又は負債並びに収益及び費用は、中間連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は少数株主持分及び資本の部における為替換算調整勘定に含めております。

(ホ) 重要なリース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(ヘ) その他中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

5. 中間連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期的な投資からなります。

追加情報

法人事業税における外形標準課税部分の連結損益計算書上の表示方法

「地方税法等の一部を改正する法律」(平成15年法律第9号)が平成15年3月31日に公布され、平成16年4月1日以後に開始する事業年度より外形標準課税制度が導入されたことに伴い当中間連結会計期間から「法人事業税における外形標準課税部分の損益計算書上の表示についての実務上の取扱い」(平成16年2月13日 企業会計基準委員会 実務対応報告第12号)に従い法人事業税の付加価値割及び資本割については、販売費及び一般管理費に計上しております。

この結果、販売費及び一般管理費が64百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前中間純利益が、64百万円減少しております。

単独財務諸表

中間貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	第 89 期 (当中間期) <small>(平成16年9月30日現在)</small>	第 88 期 (前中間期) <small>(平成15年9月30日現在)</small>
流動資産	50,124	43,212
現金及び預金	27,019	20,205
受取手形	4,707	4,535
売掛金	12,095	12,529
有価証券	26	162
商品及び製品	2,438	2,386
仕掛品	776	552
原材料及び貯蔵品	1,462	1,337
仮払消費税等	322	416
繰延税金資産	817	673
その他の流動資産	537	492
貸倒引当金	△ 80	△ 79
固定資産	43,173	46,734
有形固定資産	18,223	18,618
建物	9,990	10,591
構築物	346	389
機械及び装置	970	1,023
車両運搬具	7	8
工具器具備品	972	1,029
土地	5,555	5,407
建設仮勘定	381	168
無形固定資産	2,699	2,588
営業権	800	1,120
ソフトウェア	1,491	1,413
ソフトウェア仮勘定	352	—
その他の無形固定資産	54	55
投資その他の資産	22,249	25,527
投資有価証券	3,935	6,609
子会社株式	11,408	11,331
子会社出資金	49	49
差入保証金	1,004	1,076
繰延税金資産	2,464	3,036
長期預金	1,000	1,275
その他の投資等	2,692	2,425
貸倒引当金	△ 306	△ 276
資産合計	93,297	89,946

負債の部	第 89 期 (当中間期) <small>(平成16年9月30日現在)</small>	第 88 期 (前中間期) <small>(平成15年9月30日現在)</small>
流動負債	15,997	14,788
支払手形	498	672
買掛金	7,982	7,210
未払金	79	113
未払費用	1,429	1,395
未払法人税等	1,299	776
預り金	250	252
従業員預り金	1,386	1,396
仮受消費税等	493	700
賞与引当金	1,595	1,452
その他の流動負債	981	818
固定負債	4,600	4,369
退職給付引当金	3,980	3,795
役員退職慰労引当金	620	574
負債合計	20,597	19,157
資本の部		
資本金	18,239	18,239
資本剰余金	19,292	19,292
資本準備金	19,292	19,292
利益剰余金	36,518	34,578
利益準備金	2,385	2,385
任意積立金	10,917	10,918
建物圧縮積立金	36	37
別途積立金	10,881	10,881
中間未処分利益	23,216	21,274
株式等評価差額金	△ 135	△ 483
その他有価証券評価差額金	△ 135	△ 483
自己株式	△ 1,215	△ 838
資本合計	72,699	70,788
負債、資本合計	93,297	89,946

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 有形固定資産の減価償却累計額

当中間期	前中間期
24,806百万円	23,853百万円

中間損益計算書

(単位：百万円)

	第 89 期 (当中間期) (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)	第 88 期 (前中間期) (平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)
経常損益の部		
営業損益の部		
営業収益		
売上高	28,226	26,670
営業費用	25,166	24,672
売上原価	15,754	15,255
販売費及び一般管理費	9,412	9,416
営業利益	3,059	1,997
営業外損益の部		
営業外収益	315	270
受取利息及び配当金	99	84
その他の営業外収益	215	185
営業外費用	227	332
支払利息	7	7
営業権償却	160	160
その他の営業外費用	59	165
経常利益	3,147	1,935
特別損益の部		
特別利益	64	56
投資有価証券売却益	49	24
その他の特別利益	15	32
特別損失	137	85
固定資産除却損	15	31
投資有価証券売却損	121	46
ゴルフ会員権評価損	—	7
その他の特別損失	—	0
税引前中間純利益	3,074	1,906
法人税、住民税及び事業税	1,199	743
中間純利益	1,875	1,163
前期繰越利益	21,340	22,149
自己株式消却額	—	2,038
中間未処分利益	23,216	21,274

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 税効果会計の適用に当たり「簡便法」を採用しておりますので、法人税、住民税及び事業税は法人税等調整額を含めた金額で一括掲記しております。

株式の状況

(平成16年9月30日現在)

●株式情報

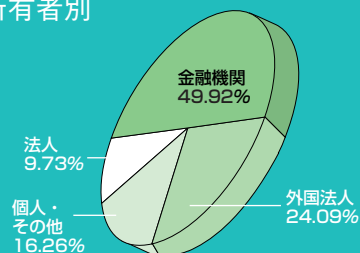
- ・ 会社が発行する株式の総数 185,476,000株
- ・ 発行済株式の総数 81,257,829株
- ・ 株主数 7,107名

●大株主(上位7名)

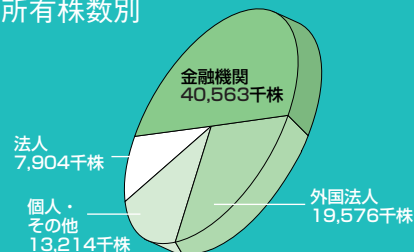
株主名	所有株式数 千株	議決権比率 %	当社の当該株主への出資状況 千株
第一生命保険相互会社	6,700	8.50	—
日本トラスティサービス信託銀行株式会社信託口	6,679	8.48	—
(財)天野工業技術研究所	6,071	7.71	—
ベアスターンズアンドカンパニー	5,058	6.42	—
日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	4,716	5.99	—
日本生命保険相互会社	4,128	5.24	—
株式会社みずほ銀行	3,900	4.95	—

●株式分布状況

・所有者別



・所有株数別



社 名 アマノ株式会社
 AMANO Corporation
 本社所在地 〒222-8558
 神奈川県横浜市港北区大豆戸町275番地
 T E L 045-401-1441 (代表)
 F A X 045-439-1120
 ホームページ <http://www.amano.co.jp/>
 創 業 1931年(昭和6年)11月3日
 設 立 1945年(昭和20年)11月22日
 資 本 金 182億3,958万円 (平成16年9月30日現在)
 従 業 員 数 1,996名 (平成16年9月30日現在)
 営 業 品 目 《企画・設計・製造・販売・施工・メンテナンス》

- 時間情報事業
 - ・タイム情報システム
 - ・タイムマネジメント商品
- パーキング事業
- 環境事業
- クリーンシステム事業
- エコロジー事業
- アウトソーシング事業
- 時刻配信・認証サービス事業

役員 (平成16年9月30日現在)

代表取締役会長	甲本 恭彬
代表取締役社長	春田 薫
代表取締役専務	水島 宜典
常務取締役	中村 良三
常務取締役	野田 修治
常務取締役	鈴木 豊
常務取締役	上野 敬三
常務取締役	海野 和男
取締役	井村 俊明
取締役	林 博文
取締役	田畑 信行
取締役	山口 彦治
取締役	小島 稔
取締役	中島 泉
取締役	宇山 生頭
取締役	今野 正幹
取締役	小林 和雄
取締役	白石 弘
取締役	野川 文吾
監査役(常勤)	川田 勝大
監査役(常勤)	草薙 利雄
監査役	澤田 辰幸
監査役	若林 寛夫

※澤田辰幸、若林寛夫の両氏は「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役です。

高品質・高効率を実現する国内生産拠点

本社・横浜事業所



神奈川県横浜市港北区大豆戸町275番地
 TEL: 045(401)1441 FAX: 045(439)1120
 ●タイム情報ソフトウェア、駐車場機器、
 電解水生成装置 他
 ●ISO9001:2000

津久井事業所



神奈川県津久井郡津久井町長竹236番3
 TEL: 042(784)7441 FAX: 042(780)7107
 ●情報システム機器、電子タイムレコーダ、
 プリント基板、プラスチック成形部品 他
 ●ISO9001:2000 / ISO14001

細江事業所



静岡県引佐郡細江町気賀8123番地
 TEL: 053(522)0951 FAX: 053(527)0002
 ●集塵機、集塵装置、掃除機、フロア清掃機、
 脱臭装置 他
 ●ISO9001:2000 / ISO14001

都田事業所



静岡県浜松市新都田1丁目6番2号
 TEL: 053(484)1051 FAX: 053(484)1081
 ●精密金型、切削部品、金型自動交換機 他

株主メモ

決算期	毎年 3月31日
定時株主総会	毎年 6月
基準日	毎年 3月31日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告します。
利益配当金支払基準日	毎年 3月31日
中間配当金支払基準日	毎年 9月30日
名義書換代理人	三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目 4番 5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
同取次所	三菱信託銀行 全国各支店
郵便物送付先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目 7番 7号
電話お問合せ先	三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話 (0120) 707-696 (フリーダイヤル)
公告掲載新聞	日本経済新聞
決算公告ホームページアドレス	http://www.amano.co.jp/IR/kessan.html

お知らせ

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人の専用フリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用ください。



本社 / 〒222-8558 横浜市港北区大豆戸町275番地
TEL. (045) 401-1441 (代表) FAX. (045) 439-1120

<http://www.amano.co.jp/>

アマノのホームページでは最近の決算情報やアマノニュース・製品情報など掲載しています。

